

安全性
原発

説明会を事実上拒否

福井県原子力安全専門委

関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）の「安全性」にお墨付きを与えた福井県原子力安全専門委員会の中川英之委員長は7日、県民への説明責任を果たすよう求めていた日本共産党の佐藤正雄県議の要請に対し、事実上応じない回答を行いました。

同委員会が高浜3、

4号機について行った安全性の検証は、西川一誠知事が再稼働に地元同意するかを決める重要な判断材料とした。同委員会は昨年12月、「原子炉の安全確保のために必要な対策は確保できている」とする報告書をまとめ、西川知事に提出しました。

佐藤県議は中川委員

長に対し、委員長主催の住民説明会を早期に開くか、佐藤県議が企画する学習会で講師を務めるよう要請書を提出しました。

県が自らは説明会を開催しないと、すでに答弁していたところ、県の担当課を通じて今回、中川委員長が行った回答は「説明会出席は県が主催するものと考えており、申し出を受けることができない」というものでした。

佐藤県議は「県民に説明責任を果たさないまま再稼働を進めようとしている閉鎖的な福井県の原子力行政を厳しく批判します。安全問題でも事故時の避難対策でも、県民の疑問と不安の声に真摯（しんし）に耳を傾ける行政への転換を強く求めていく」としています。